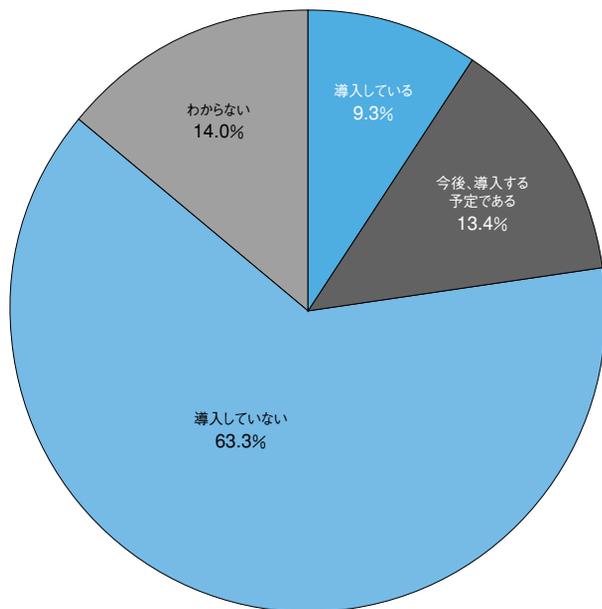


CMS

CMSの利用企業は9.3%、導入予定は13.4%

資料3-6-24 CMS導入の有無 N=762

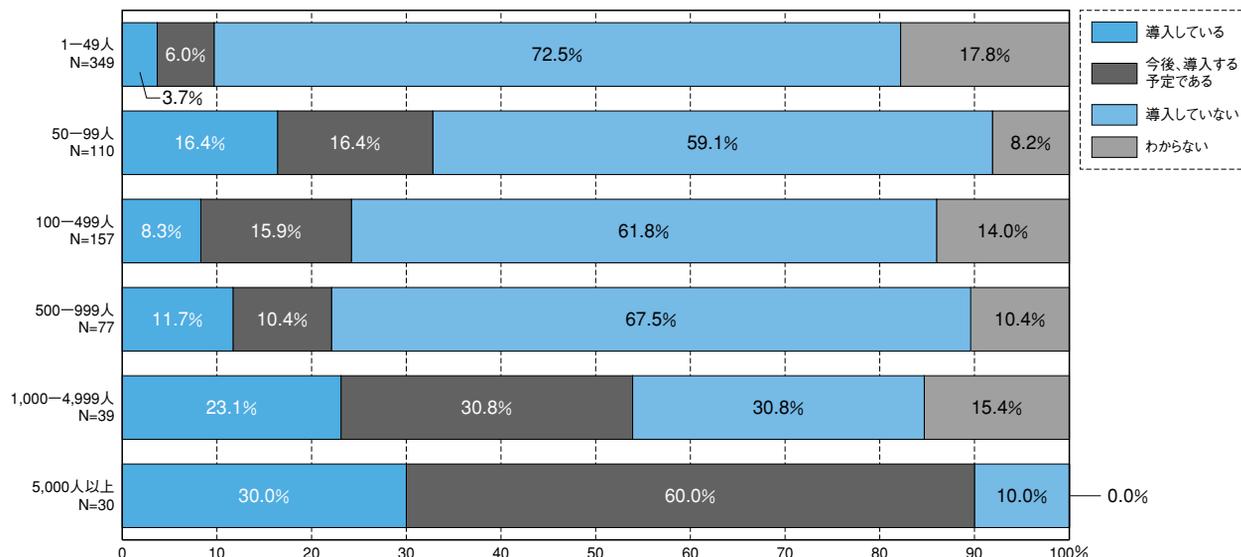


CMSの導入状況は9.3%で、今後の導入予定を合わせても2割強である。CMSはウェブサイトやイントラネットなどを構成するテキスト、画像、動画、音声などの素材データとレイアウト情報を保存し、一元管理するソフトウェアの総称で、ウェブサイト管理の生産効率性などを上げることを目的としている。

©Access Media/impress R&D,2006

大企業での浸透が高く、導入は30.0%、導入予定は60.0%

資料3-6-25 CMS導入の有無 [従業員規模別]



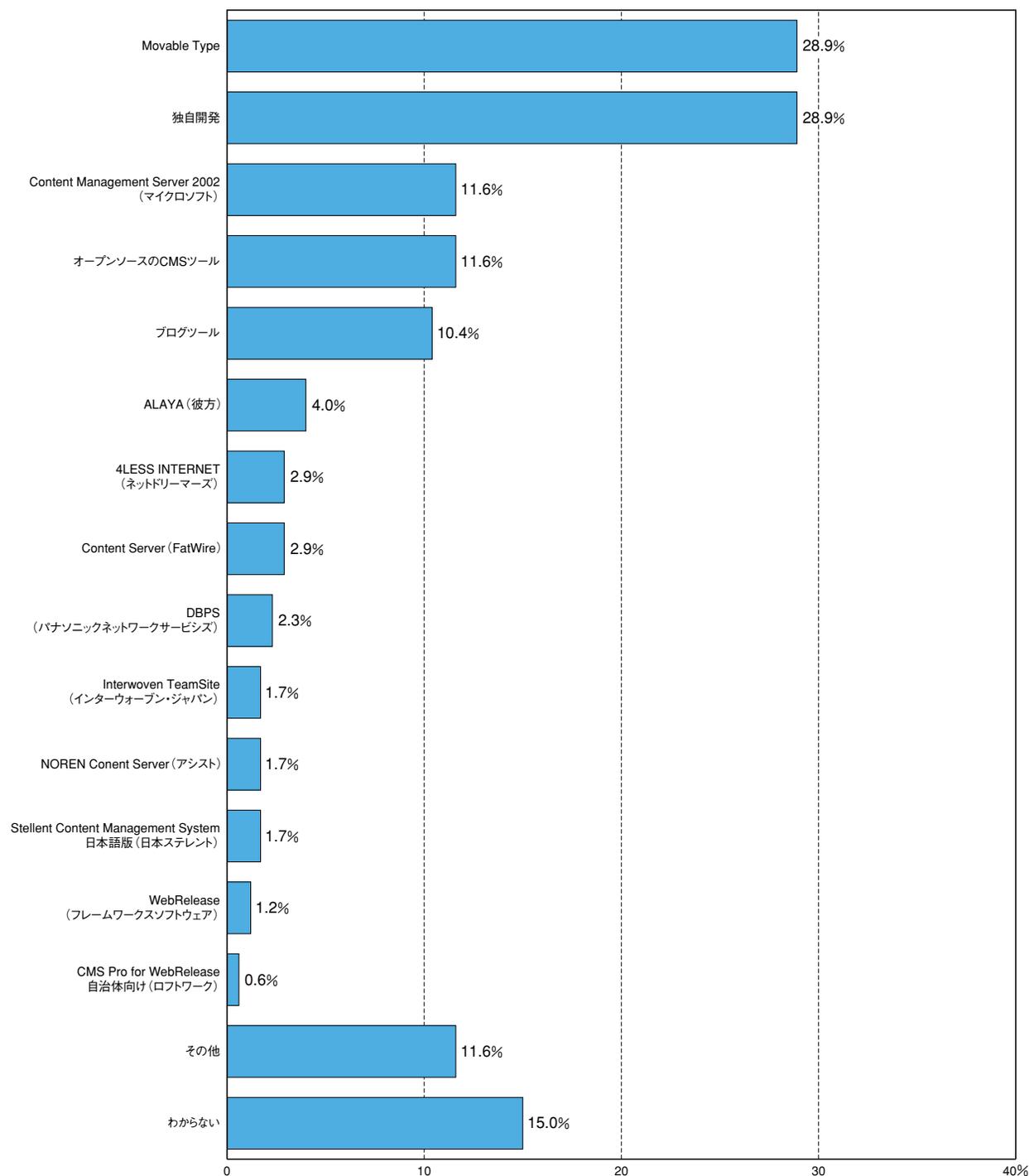
©Access Media/impress R&D,2006

規模が大きくなるほどCMS利用率は高い傾向がみられる。しかしながら、画像、動画などを多く利用するサイトなどは、各分野の担当者がデザイナーを介せずとも各自コンテンツ作成を進めることができ、作業管理を一括で行えるといったメリットがあるため、規模にかかわらず今後は利用されるものと思われる。

CMS

トップは同率28.9%で「MovableType」と「独自開発」

資料3-6-26 導入済みまたは導入予定のCMS（複数回答） N=173



©Access Media/impress R&D,2006

CMS導入または導入予定の企業173サンプルの利用CMSは「MovableType」「独自開発」が28.9%の同率で高い。「Movable Type」は代表的なブログツールであるが、操作が簡単である点から利用されていると思われる。一方、「独自開発」は、業務に合ったカスタマイズされたツールとして重宝されていると思われる。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)